

5

わたしたちの北海道のまちづくり



㊦ 札幌市の大通公園



㊧ 函館市の夜景



㊨ 新千歳空港



㊩ 旭山動物園

あさひさんたちは、北海道の地図を見ながら、道内で自分が知っている地域ちいきを発表しました。

そして、発表した地域と、その地域について知っていることや、感じたことを話し合いました。



さっぽろ「札幌市には、おおどおり大通公園という大きな公園があるみたいだよ。」



はこだて「函館市の夜景は、とてもきれいで、全国でも有名みたいだよ。」



ちとせ「千歳市にある新千歳空港には、ひこうき飛行機がたくさんあるね。」



あさひかわ「旭川市にあるあさひやま旭山動物園では、おもしろい動物の見せ方をしているね。」



「北海道の地形や土地の^{りよう}利用，主な^{さんぎょう}産業や交通の広がりには
学んだけれど，道内にはさまざまな地域がありそうだね。」



「小樽市は、『ガラスのまち』と^{おたる}言われているみたいだね。」



「知床は，^{しれとこ}世界自然^{せかいしぜんいさん}遺産に^{とうろく}登録されているみたいだよ。」



「札幌市では，雪まつりやよさこいソーランなどのお祭りがある
みたいだね。外国からたくさんの方が来るみたいだよ。」

あさひさんたちは，北海道にはどのような地域があるのか，くわしく
調べてみたくなりました。

学んでいこう

北海道には，どのような地域
があるのだろうか？



1 ガラスを 生かした まちづくり

観光客でにぎわう小樽運河

この時間の問い

ガラスのまち おたる 小樽について調べよう

小樽のまちは、
どのような所
なのだろうか。

あさひさんたちは、小樽市の位置や土地の様子を
地図で調べたり、市の様子が見える写真を見たりし
ました。



「小樽市が、どのような所なのか、もっとくわし
い地図を使って、調べてみたいな。」

先生が小樽市の地図を見せてくれました。



小樽市の地図

活動

小樽市の位置や土地の
様子を調べよう。

小樽市はどのような所か、
地域の人から話を聞こう。

疑問を出し合って、
学習問題をつくろう。



㊦ 小樽港の様子



㊦ 小樽市にあるガラス製品店



「小樽市は、海のそばに位置しているんだね。」



「小樽市には、ガラスが売られているお店がたくさんあるね。
ガラスが有名なまちなのかな。」

あさひさんたちは、市役所の人にインタビューをしました。

小樽市役所 ^{とがみ} 戸上さんの話



小樽市は、札幌市など4つの市町村と隣り合っています。人口は、約12万人（令和元年現在）の市です。

小樽市の有名な産業の1つがガラス工芸です。市内には、約15ものガラス工房があり、小さなお店を合わせると60以上のガラスのお店があります。小樽市外から来た人が、おみやげとして小樽のガラス工芸品を買っていきます。

小樽ガラスを 買いに来た人の話



小樽ガラスはさまざまな色や形があり、自分好みのアクセサリを探るのが楽しみです。置き物や、アクセサリなど、生活の中でいろいろ使えることもいいですね。



「小樽には、ガラス製品をつくる人はどれくらいいるのかな。」



「どうして、小樽は『ガラスのまち』とよばれるようになったのかな。」



「小樽で、ガラスはどれくらい前から作られてきたのだろう。」
疑問を出し合い、学習問題をつくりました。そして、学習問題について予想し、学習計画を立てました。

みんなで作った学習問題

小樽市では、なぜ、ガラス作りがさかんなのだろうか。



ア ニシン漁の様子



イ がらす市の様子

ガラス作りがさかんになったわけ

?この時間の問い

小樽市では、どうして
ガラス作りがさかん
になったのだろう。

あさひさんたちは、小樽ではいつごろから
ガラス作りが始まったのか、市役所の方に質
問しました。

活動

ガラス作りの始まりに
ついて、調べよう。

ガラス作りが、広く
知られるようになった
わけを調べよう。

調べてわかったことを、
ノートに書こう。

小樽市役所 戸上さんの話



小樽では、明治24年(1891年)、井上寅蔵
さんが建てた工場で、最初のガラス作りが始
まりました。

明治30年代になると、石油ランプの火屋(覆う筒)をはじめと
したガラス製品作りが始まりました。そして、明治33年(1900年)、
『浅原硝子製造所』を浅原久吉さんが創業しました。

小樽市はニシン漁でにぎわっており、網の位置を確認するため
に使われる、『浮き玉』の製造をしました。もともとは木材が使
われていましたが、浮力が大きく水圧に強いいため、ガラス製の方
がすぐれていました。

今も『浅原硝子製造所』でガラス製の『浮き玉』が作られてい
ます。

あさひさんたちは、小樽では明治時代からガラス作りが始ま
ったということや、浅原久吉さんが作った『浮き玉』が、漁が
さかんになるにつれて、たくさん作られるようになったという
ことを知りました。

知りたいことについて、さらに質問しました。



「ガラス作りが、人々に広く知られるようになったのは、なぜですか。」

小樽市役所 戸上さんの話

浅原久吉さんしらく ひさしげのご子息の久重さんどくりつが、独立してガラスの販売店はんばいてんを出しました。

浅原健蔵さんけんぞうが、その販売店を受けつぎ、昭和46年(1971年)に、『北一硝子』と名前なを変えました。

北一硝子は、小樽の歴史れきしを感じる石造りの倉庫そうこをアレンジして、店を設計せつけいし、業績ぎょうせきを上げていきました。

このようにして、「小樽といえばガラス」というイメージを作り上げました。



☐ ガラス製の浮き玉

浮き玉



浮き玉はあみの形を整えたり、あみの場所を知らせたりするために使われます。

あさひさんたちは、ガラス作りの歩みについて、わかったことをノートにまとめました。

あさひさんのノート

明治時代からガラス作りが始まった！

○明治24年(1891年)、井上寅蔵さんがガラス工場を建てた。

初のガラス工場

○明治33年(1900年)、浅原久吉さんが浅原硝子製造所を建てた。

漁に使われる浮き玉の製造

○浅原久重さんが独立して販売店を出す。

後に、浅原健蔵さんが『北一硝子』に改名かいめい

次につなげよう

ガラス製品づくりをしている浅原さんの努力どりよくや願いねがは、どのようなものなのかな。

でんとう 伝統を受けつぐガラス製の浮き玉作り

この時間の問い

ガラス製品づくりを

している浅原さんの

努力や願いを調べよう。

あさひさんたちは、まず浅原硝子製造所のあゆみについて調べることにしました。

浅原さんの工場ができたのは、今から100年以上前の1900（明治33）年のことでした。

当時、全国からたくさんの人やモノが集まり、にぎわっていた小樽市に、宰一郎さんのひいおじいさんにあたる浅原久吉さんがガラス工場を作りました。



1960（昭和35）年6月北海道新聞
初代浅原久吉さんの努力を知らせる当時の新聞

久吉さんが研究を重ねて作った漁業用のガラス浮き玉を作る工場は、1日に何千個も作るほどの忙しさだったそうです。

ガラス作りのさかんな小樽市ですが、もとをたどると、昔からの職人さんたちのくふうや努力があったのです。

活動

4代続く浅原さんについて調べよう。

浅原さんの話を読み、わかったことを書こう。

宰一郎さんは、久吉さんから数えて4代目にあたります。小さい時からガラス工場とともにすごし、たくさんの職人さんたちの仕事ぶりを見て育ちました。

あさひさんたちは、ガラス浮き玉職人として、どのようなことを考えているのか、宰一郎さんに話を聞きに行きました。

浅原宰一郎さんの話



浮き玉職人として、浮き玉を使っている漁師さんの仕事の役に立てるということが、一番うれしいことです。

わたしの作った浮き玉でいい仕事ができ、また使いたいな、と思ってもらえることが作り手としてのよろこびです。

浮き玉職人は、わたし1人しかいません。漁業用の浮き玉を作っているのもわたしの工場だけになってしまいました。工場では若いアシスタントと2人で作業をしており、伝統的な技術を未来につなげるために、若い人を育てています。

ガラス浮き玉は、今のプラスチック浮き玉とちがいで、自然にやさしく、溶かして何回も使うことができます。今に、ガラス浮き玉のよさが、見直される日がくるかもしれないと思います。

みなさんも、どんなものでもいいから、ものを作るよろこびを知ってほしいと思います。昔から受けつがれている、ものづくりの大切さを、使いすて時代の今こそ大事にしてほしいと思っています。



ア 浅原さんの製品

げんざい
現在、浅原さんの工場では、浮き玉以外のガラス製品も作っているそうだよ。



キーワード

でんとうてき ぎじゆつ
伝統的な技術

かいせつ

古くから伝わる、長く受けつがれてきた技術のことです。伝統的な技術を若い人に伝えていくことも大切です。

次につなげよう

ガラスの浮き玉はどのように作るのかな。

う 浮き玉の作り方

? この時間の問い

浮き玉の作り方に
ついて調べよう。

あさひさんたちは、浮き玉の作り方を調べ
るために、あさはらがらすせいぞうしょ浅原硝子製造所をたずねました。

活動

どんなじゆんじよ順序で作られるの
か調べよう。

浮き玉を作るときのどりよく努力や
くろろ苦労を調べよう。

夏には、40度以上にもなる工場の中での
作業は、たいへんです。流れ落ちる汗をぬぐ
いながら、作業をします。



① ガラスの原料 けい光かん



② まき上げる
1300度の熱で溶かした
ガラスをまき上げる。

ガラス浮き玉には、
リサイクル原料が使われて
いるね。

浅原さんの工場では、
浮き玉作りを体験できる
みたいだよ。



⑦ かんせい
完成



浮き玉の大きさは20種類ほどあります。

それぞれの大きさに見合った量の原料を目分量で取り、すばやく、どこも一定の厚きにするには、長い経験の中で身につけた確かな技術が必要です。

あさはらさいいちろう 浅原宰一郎さんの話



ガラス製の浮き玉の原料は、以前はラムネなどのビンを使っていました。

しかし、今は、漁業用以外の浮き玉がふえたので、色のついていない、けい光かんなどのリサイクル原料を使っています。大きさは20種類ほどあります。



③ ふくらませる
息をふきこみながら玉の形にしていきます。



④ 形を整える
型を使いながら、どこも同じ厚さの玉になるように整えます。



⑥ 冷ます
温度の低い炉で、一晩かけてゆっくり冷まします。



⑤ ヘそをつける
息のふきこみ口を溶かしたガラスでふさぐ。

次につなげよう

おたる
小樽ガラスのよさを広めるために、まちの人々はどのような取り組みをしているか。



ア がらす市の様子
おたる



イ 小樽市のすし屋さん



ウ 木村さんの製品

小樽ガラスのよさを広げるために

？この時間の問い

まちの人々は、小樽ガラスのよさを、どのように広めようとして
いるのだろう。

あさひさんたちは、小樽のガラスを広めたいと願っている人が、多くいるのではないかと考えました。

活動

まちの人々の、小樽のガラスに対する思いや願いを考えよう。



「小樽が『ガラスのまち』とよばれているの

は、まちのみんなが協力し合っているからではないかな。」

小樽のガラスを広めるための取り組みについて、小樽市のさまざまな人から話を聞こう。

小樽のガラスを広めるための、それぞれの取り組みを整理しよう。

小樽のガラスを、より広めていくための取り組みについて、3人の方からお話を聞きました。



小樽市役所 戸上さんの話

小樽市としての取り組みは、主に2つあります。

1つ目は、『小樽がらす市』です。

平成21年度から開催しました。『ガラスのまち 小樽』のイメージを市民に広めたいという思いから始まりました。

小樽だけではなく、全国のガラス工房などによる製品の展示や販売、製作体験も行い、毎年多くの人々が来てくれています。

2つ目は、『卒業記念硝子製作体験』です。

小樽市内に在住している小学6年生を対象に行っています。市内のガラス工房で、職人と一緒に、自分だけのガラスを作ります。小樽のガラスのよさを知るきっかけになってほしいと思います。

がらす市



がらす市は、平成21年度から始まったイベントです。

3万人以上の人がある大きなイベントの1つです。



卒業記念硝子製作体験

それぞれの立場の人々が協力し合って、小樽ガラスのよさを広めているのだね。



こうげい ガラス工芸作家 木村さんの話



わたしは、小樽で修行をして、平成23年度にガラス工房を開きました。自分の工房で、ガラス製品を作り、販売もしています。

ガラスは、美しい反面、とてもせんさいなものです。あつかい方によっては、かけたり、われたりします。また、手入れをしないと、くもってしまうこともあります。

みなさんの生活に、うるおいをあたえるとともに、「われないように優しく使おう。」などというような温かい気持ちやていねいな所作を自然と身につけることができるガラス製品作りにやりがいを感じています。

わたしは、ガラス工芸作家の1人として、『ガラスのまち 小樽』が今後10年、100年と発展していくことを願って活動しています。そのために、市内のガラス職人の方やガラス工芸作家の人たちと切磋琢磨し合い、ガラス作りの技術をさらに高めていきたいと思っています。



伝統工芸 『小樽焼』を題材にした作品



ガラスを作っている木村さん

たけだ すし屋を開く武田さんの話



わたしは、小樽をはじめ北海道でとれた魚などを使ったすし屋を開いています。料理は、小樽ガラスのお皿にもりつけ、飲み物は小樽ガラスのグラスを使っています。料理がよりおいしく見えるように、うつわ選びにもこだわっています。

お客様には、小樽ならではのすしを目と舌で楽しんでもらいたいですね。

そして、多くの方に小樽と言えば『ガラス・運河・すし』というイメージがさらに浸透してくれるように、これからも小樽ガラスを積極的にお店で使っていきたいと思っています。



木村さんが作った皿にもりつけられた武田さんのすし

次につなげよう

小樽市では、なぜ、ガラス作りがさかんなのか
わかってきたね。

まとめる



おたる はってん ねが 小樽市の発展を願って

みんなでつくった学習問題

小樽市では、なぜ、
ガラス作りがさかん
なのだろうか。

あさひさんたちは、学習問題をふり返りました。
そして、小樽市で、ガラス作りがさかんになった理由について、これまで調べてきたことをもとに、話し合いました。



「ニシン漁のための浮き玉が、小樽ガラスのはじまりだったのだね。」



「がらす市や、卒業記念硝子製作体験という取り組みもあったね。」



ア がらす市の様子



「100年以上の歴史を受けついでいる、ガラス職人さんの苦労もあったね。」



「小樽市のすし屋さんでも、ガラス職人さんが作ったお皿を使っていたね。」



イ 商店街につけられている風鈴

キーワードをふり返ろう

でんとうてき きじゆつ
○伝統的な技術

あさひさんたちは、みんなで話し合ったことを、それぞれグループ分けして、小樽市でガラス作りがさかんなわけを、図に表してみることにしました。

ニシン漁のための浮き玉から始まった小樽ガラス…

でんとう
伝統を大切にする思い

あさはら
・浅原さん、木村さんを中心として、
ガラス作りのぎしゅつ技術が受けつがれて
きている。

市としての取り組み

- ・がらす市
- ・卒業記念硝子製作体験
- ・りょうりてん料理店での活用

小樽市では、
ガラス作りが
さかんだ！



「図に表すと、小樽市のいろいろなよさが、ガラス作りにつながる事がわかるね。」

あさひさんたちは、まとめた図を見ながら、学習問題についての自分の考えをノートに書きました。

そして、小樽市のガラス作りを、さらにさかんにしていくためにはどのようなことが大切なのかを考えてみることにしました。

あさひさんのノート

学習問題について考えたこと

小樽市でガラス作りがさかんなわけは、浅原さんや木村さんをはじめとした職人さんやこうげい工芸作家さんが…。

また、『がらす市』や、『卒業記念硝子製作体験』など市として、
いろいろな…



知床という地名は、アイヌ語で「シリ・エトク（地の^は果て）」という意味があります。または、「行きづまり・^{とったん}突端」つまり、「岬^{みさき}」という意味もあります。
←赤い線が世界自然遺産登録ゾーン



空から見た知床と知床の位置

2 しぜん 大自然を 生かした まちづくり

?この時間の問い

知床は、
どのような所
なのだろう。

活動

知床の位置や土地の様子を地図や写真で調べよう。

知床はどのような所なのか、町役場の人に話を聞くなどして調べよう。

疑問に思ったことや調べたいことをもとに、学習問題を作り、学習計画を立てよう。

しれとこ
知床は、どのような所なのだろう

かずやさんたちは、知床の写真を見たり、地図で北海道の知床の位置や土地の様子を調べたりしました。



「北海道の地図を見ると、知床は北海道の東の方に位置しているよ。」



「知床は、斜里町と羅臼町の2つの町にまたがっているんだね。」



「知床は、半島になっていて、平らな土地がほとんどないね。」



「建物が全く見えないね。人は住んでいるのかな。」

かずやさんたちは、知床財団の人に、知床とはどのような所なのかを聞いてみました。



イ 知床観光船の様子



ウ 知床の自然（フレペの滝付近）



エ 知床をおとずれた外国の人々



おかもと 知床財団の岡本さんの話

知床は、2005（平成17）年7月17日に世界自然遺産に登録されました。白神山（青森県と秋田県）、屋久島（鹿児島県）に続く日本で三番目の世界自然遺産登録地です。

知床が世界自然遺産に登録されたのは、

- ①海から陸へとつづく、生き物たちのつながりがよくわかること
- ②絶滅危惧種のシマフクロウなどの生息地になっていること
- ③これらを保全していくための管理体制が整っていること

にあります。

知床半島の中央の山々をさかいに降水量などの気候がちがひ、世界でもめずらしい豊かな自然をみるために、年間120万人近くの国内外の観光客が知床をおとずれます。



「どのようにして、世界遺産に登録されたのかな。」



「知床は、自然環境に恵まれているんだね。人々も、自然を大事にしているのかな。」

かずやさんたちは、疑問に思ったことや調べてみたいことをもとに、学習問題をつくって予想し、学習計画を立てました。

みんなでつくった学習問題

- なぜ知床は自然が豊かなのだろうか。
- 多くの人々が知床をおとずれるのはなぜだろうか。



キーワード

自然環境

かいせつ

世界遺産

「世界遺産」は、特に世界中の人が協力して守ろう、守る必要がある、と定められた場所や建物のことです。

ぜつめつきぐしゅ

絶滅危惧種
現在生きている数がへり続け、将来に絶滅のおそれる動物や植物のことです。

次につなげよう

知床は、世界自然遺産に登録されているんだね。



ア 海から見た知床



イ 海岸に咲くエソスカシユリ



ウ 川でサケをとるヒグマ

この時間の問い

しれとこ いさん とうろく 知床が世界遺産に登録されるまで

知床はどのようにして、世界遺産に登録されたのだろう。



「世界遺産になったのは、^{ゆた}豊かな自然^{しぜん}だけではないようだよ。」



「自然と人とのかかわりにヒントがありそうだよ。」

かずやさんたちは、知床がどのようにして世界遺産に登録されたのかを知るために、知床財団の方に教えてもらいました。

知床が世界遺産に登録されたあゆみを調べよう。

活動

● 知床の写真を見て、気づいたことを話し合おう。

● 知床が世界遺産に登録されたあゆみを調べよう。

● 調べてわかったことをノートにまとめよう。

かいせつ

知床財団

斜里町と羅臼町がつくった世界自然遺産・知床の自然を「知り・守り・伝える」実働部隊です。

野生動物の保護や調査、森づくり、研修受け入れ、電気柵の設置など様々な活動を行っています。

知床財団のおかもとさんの話

知床は、もともと北海道の開拓以前の自然が多く残っている地域でした。1964（昭和39）年に国立公園に指定され、豊かな自然を守る活動が本格的に始まりました。

1977（昭和52）年からは、斜里町で「しれとこ100平方メートル運動」により、人の手によって失われた自然を人の手で取りもどす活動も始まりました。

1994（平成6）年、知床国立公園指定30周年を機会に、世界自然遺産登録へ斜里町、羅臼町で話し合いが始まりました。

2004（平成16）年に世界自然遺産候補地として決定し、「ユネスコ世界遺産センター」に対して、正式にすいせん書が出されました。しかし、海洋の管理体制が不十分との見解が出され、日本政府が漁業者の方とさらに話し合いを行い、科学的に海洋管理を行っていくことを決めました。

その後も、調査をくり返して、2005年（平成17）年7月17日に正式に世界自然遺産に登録されました。



㊦ しれとこ 100 平方メートル運動
をしようかいする建物の看板

㊧ 植樹活動 (100 平方メートル運動の
森・トラスト)

知床の世界遺産登録は、漁業などそこに生活する人々の産
業も生かしながら自然を守る活動をするという、世界でも
めずらしい形でした。自然を守るということは、資源を守る
ことにもつながります。自然の恵みに感謝しながら生活する
人々のすがたは、登録から 10 年以上たった今も、世界中か
ら注目されています。



「斜里町や羅臼町の人々が協力して知
床の自然を守る姿勢がみとめられて、
世界遺産に登録されたんだね。」

知床世界自然遺産へのあゆみ

- 1964年 知床が国立公園に指定される。
自然を守る活動が始まる。
- 1977年 しれとこ100平方メートル運動が始まる。
自分たちの手で失われた自然を取りもどす。
- 1994年 世界自然遺産へ向けた話し合いが始まる。
自然を守ることと人が生活していかなければなら
ないことの両方を考えなければならなかった。
- 1997年 100平方メートル運動の森・トラストが始まる。
自分たちの手で森づくりを続けている。
- 2004年 世界自然遺産候補にすいせんされる。
10年間も話し合った。活動がみとめられた。
- 2005年 世界自然遺産に登録される。
うれしい気持ちとこれからもだという気持ちの
両方があったんだろうな。

かいせつ

しれとこ 100 平方

メートル運動

知床は、今から 100 年ほど前
から開墾が始まりましたが、き
びしい自然と、地中に石が多
く、畑として使うことができる
面積が少ないことがわかり、開
拓は、断念されました。

しかし、開拓の跡地は、残され
たままでした。

100 平方メートル運動とは、
今から 40 年ほど前に、斜里町
が乱開発をふせぐために、全国
から寄付を集めて、100 平方
メートルずつの土地を買い上
げてもらうことにした運動の
ことです。

2010 (平成 22) 年には、全
ての土地の買い取りが成功し
ました。

100 平方メートル運動の 森・トラスト

買い上げてもらった土地に原
生の森と、かつてそこに住んで
いた野生動物の営みを取りも
どすことを視野に入れた森づ
くりが続けられています。

次につなげよう

人々の自然を守る姿勢が
みとめられて、世界遺産に
登録されたんだね。



ア クマへのエサやりをやめるようによびかけたカード

イ 知床の自然についてのトークイベント

ウ シカが木の皮を食べるのをふせぐネット

この時間の問い

知床がかかえる問題

知床がかかえる問題に対して、人々は、どのような取り組みをしているのだろう。

かずやさんたちは、知床でいただいた写真やカードを見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合いました。



「クマやシカが問題になっているね。」

「クマやシカ、草木を守るための取り組みがあると思うな。」



羅臼町役場の方や斜里町役場の方に知床の問題について教えていただきました。



おおぬま 羅臼町役場の大沼さんの話

知床には、約400~500頭のヒグマが生息していると言われています。漁業や水産加工業がさかんな羅臼町では、ここ数年、ヒグマが人里におりてくることが多くなり、飼犬がおそわれるひがいも発生しています。

人間に危害がおよぶことがとても心配され、ヒグマを捕獲しなくてはならないこともあります。ヒグマは一度気に入った味を覚え、食べ物がそこにあることを学ぶと何度もやってきてしまうのです。

そこで羅臼町では、電気柵を導入し、地域町内会に草かり活動のお願いをしています。そして、ヒグマが人里に近よろうとすれば山への追いはらいをしています。また、観光客にも、ごみのマナーを守ってもらおうと専用の有料ゴミぶくろを用意しています。

活動

知床の写真などを見て、気づいたことやカードが作られたわけを話し合おう。

知床がかかえる問題について考えよう。

問題を解決するための人々の取り組みについて調べよう。



㊦ クマがゴミをとれないように開発されたとれんベア



㊦ 幌別川河口のごみ拾い



斜里町役場の南出さんの話

斜里町の幌別川は、世界遺産地域の境界になっている河川です。お盆ごろから大勢のつり人が集まり、河口部でカラフトマスつりが本格化します。しかし、ここでも度々クマは目撃されています。昔から幌別川で釣りをすることは、人々の生活そのものです。そこで、危険だから立ち入り禁止にするのではなく、「幌別のつりを守る会」が中心となって、パトロールをしたり、ゴミ置き場（とれんベア）の清掃を行ったりしています。

また、シカの問題もあります。1980年代から急増したエゾシカは、知床の各地で大群をなし、森や草原の植物を食べつくしてしまうなど大きな影響をあたえていました。本来、オオカミがシカをコントロールするのですが、すでに絶滅してしまっているのです。2007年、世界遺産登録とユネスコからの勧告を機に、人の手でへらす作業に着手しました。国立公園で初めてシカの減少に成功しましたが、これからも科学的調査にもとづいて対策を続けていくことが必要です。



「人もクマも一定の距離感を保つことが大切なんだね。」



「シカがふえすぎると、貴重な植物が失われてしまうんだね。」



「捕獲したシカは専用の牧場に集められるんだね。」



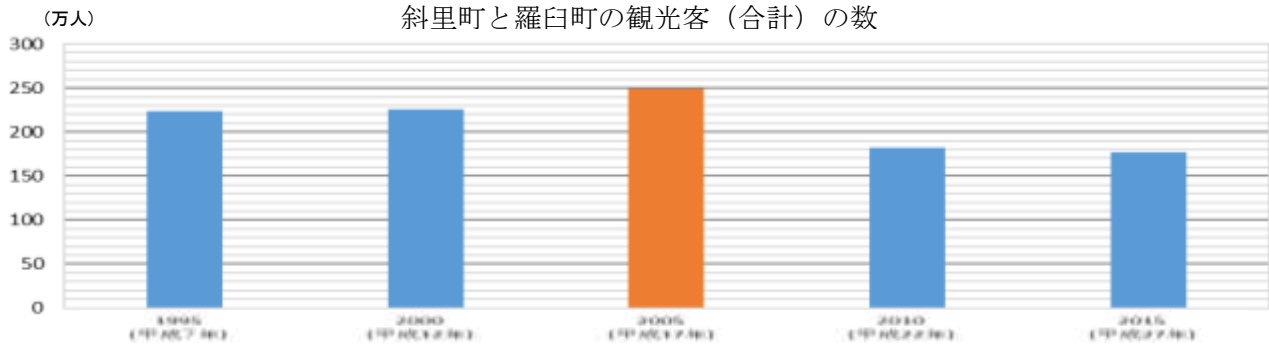
㊦ エゾシカファーム



㊦ ジーピーエス(GPS)をつけたシ

次につなげよう

知床をおとすれる人たちのために、どのような取り組みをしているのだろう。



ア 斜里町と羅臼町の観光客（合計）の推移（斜里町町政情報、羅臼町統計資料より）

自然を生かした観光



「毎年、多くの方が知床のある斜里町と羅臼町をおとずれているね。」

この時間の問い

知床の観光の様子に

ついて調べよう。



「いろいろな体験ができるようになってきているんだね。」

活動

グラフや写真を見て、気づいたことを話し合おう。

観光客が多いことで問題になっていることはないか調べよう。

調べてわかったことをノートにまとめよう。

かいせつ

エコツーリズム

環境を守りながら、旅行やレクリエーションを行うこと。

観光協会の方の話

わたしたちは、エコツーリズムを推進しています。観光客の方に知床の魅力を伝えるために、イベントを行ったり、観光案内をしたり、情報を提供したりしています。

知床の自然を多くの人に知ってもらい、守っていくとともに、知床の周辺地域の経済の活性化も考えて仕事をしています。



イ 知床観光船



ロ シーカヤック



ハ 知床雪壁ウォーク



242 ニ 自然観察会



ヒ 流水ウォーク



ヘ 知床流水フェス



ク シャトルバスのポスター



ケ 携帯用トイレの使用をうながすちらし



ク 知床五湖の高架木道



「たくさんのお観光客が来て、こまっていることがありそうだね。自然はだいじょうぶなのかな。」

かずやさんたちは、ポスターや写真から観光によってさまざまな問題がおきていることを知りました。自然を守るためにどのような取り組みをしているのか、話を聞いてみました。



サ 知床自然センターでのスタッフトーク

知床財団の岡本さんの話

観光客などたくさんのお客が来ると、その分たくさんのお客の車が知床を走り回ることになります。そうすると排気ガスで空気が汚れたり、動物・人・車との事故がふえたり、渋滞や違法駐車が増えることになるので、バスの利用を積極的に進めています。

また、トイレの問題もあります。山の空気や川の水を汚さないためにトイレのない場所では、携帯用トイレを使用するようによびかけてもいます。

観光客の方のために動植物の説明をしたり、ルールやマナーについてレクチャーしたり、安全についての情報を提供したりもしています。

高架木道を設置したり、電気柵を設置したりするなど、人が利用する場所とヒグマが利用する場所を分けて事故や被害を防ぐ取り組みをしています。



シ 知床自然センターでのヒグマ出没情報

次につなげよう

知床の自然を守るために、どのような取り組みが行われているのだろう。

知床をおとずれる人たちのために、いろいろな取り組みがされていることがわかりました。



ア 羅臼町の小学校での知床学の『クマ学習』の様子



イ 羅臼町の中学校での知床学『クマ学習』の様子



ウ 斜里町で毎年夏に行われる知床自然教室

この時間の問い

しれとこ しぜん 知床の自然を守るために

知床でくらす人々は、自然環境を守るためにどのような取り組みをしているのだろう。

かずやさんたちは、自然豊かな知床にくらす人々が、これからの知床について、どのような思いや願いを持っているのかを考えました。



「これからも、自然を大切にしていきたいと願っていると思うな。」

そこで、知床でくらす人々は、豊かな自然を守るために、どのような取り組みをしているのか、話を聞いてみました。



らうす かなざわ 羅臼町役場の金澤さんの話

羅臼町の全小中学校は、ユネスコスクールに加盟しています。そして、ようち園児～高校生まで「知床学」を学校で勉強します。知床学では、発達段階におうじて、ヒグマへの対処法や知床の生態系について学びます。小さいころから知床について学ぶことで、郷土をほこりに思ったり、自分の生き方を考えたりすることができます。

斜里町でも小、中学生を対象とした環境教室や世界自然遺産体験学習、クマ授業などが行われています。

世界にほこる自然を次の世代に伝え、守り育てていく主役は、知床でくらす人々です。知床について正しい知識を持ち、知床をほこりに思って生きていってほしいです。

活動

知床でくらす人々の思いや願いについて調べよう。

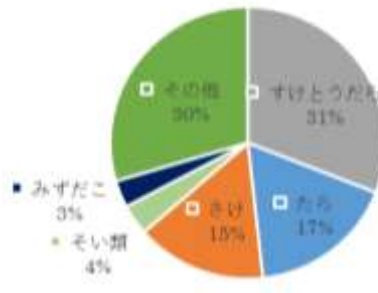
知床でくらす人々と自然環境との関わりについて調べよう。

調べて分かったことをノートにまとめよう。

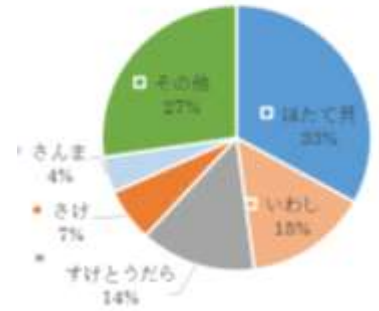
斜里町 漁獲量(合計12904t)



羅臼町 漁獲量(合計16508t)



北海道 漁獲量(合計854233t)



平成29年1月～12月の漁獲量(北海道水産林務部 北海道水産現勢より)



知床で働く漁師さんのお話

海の資源を取り過ぎないように、計画的に漁を行っています。最近、ふ化場で稚魚を放流している成果が少しずつ出てきて、知床にもどってくる魚の量もふえてきました。

地元の小学校でさけのたまごをふ化させ、育てた稚魚を川に放流する活動を行ったり、給食にさけを提供したりしています。

また、地元の方にさけを無料配付するなどして、さけをはじめとする海産物への理解が深まることを願っています。知床の海がこれからも豊かであってほしいです。



さけますふ化場



知床世界自然遺産地域連絡会議



知床財団の岡本さんの話

わたしたちは、斜里町や羅臼町、北海道、環境省、林野庁、漁協、観光団体、ボランティアの方々など様々な機関と知床の問題や将来について話し合いをしています。今後も多くの人と協力して、知床の自然を守り、伝えていきたいと思っています。

多くの自然が残る知床は、わたしたちにとっても、世界の人々にとっても大切なものです。同じ北海道に生まれたものとして、みなさんにはぜひ知床に来て、豊かな自然を体感してほしいと思います。そして、その経験が今度はみなさんの回りの自然とその保全について考えるきっかけになってくれればとてもうれしいです。



「知床の自然を守るために、いろいろな人たちと協力しているんだね。」
 「子どもたちも自分たちの住む知床について学んでいるんだね。」

次につなげよう

知床の自然を守るために、多くの人々が協力しているんだね。

この時間の問い

これからの知床しれとこ

なぜ知床は自然が豊かな
のだろう。多くの人が知
床をおとずれるのはなぜ
だろう。

かずやさんたちは、学習問題をふり返り、
なぜ知床は、自然が豊かで多くの人がおとず
れるようになったのかを考えました。

活動

- 知床について調べて、
気づいたことを
話し合おう。
- 自然を生かした取り組みに
ついて調べよう。
- 学習をふり返って、
知床を多くの人が
おとずれるわけを
考えよう。



「豊かな自然を見るために、世界中か
ら多くの人が知床をおとずれるん
だね。」

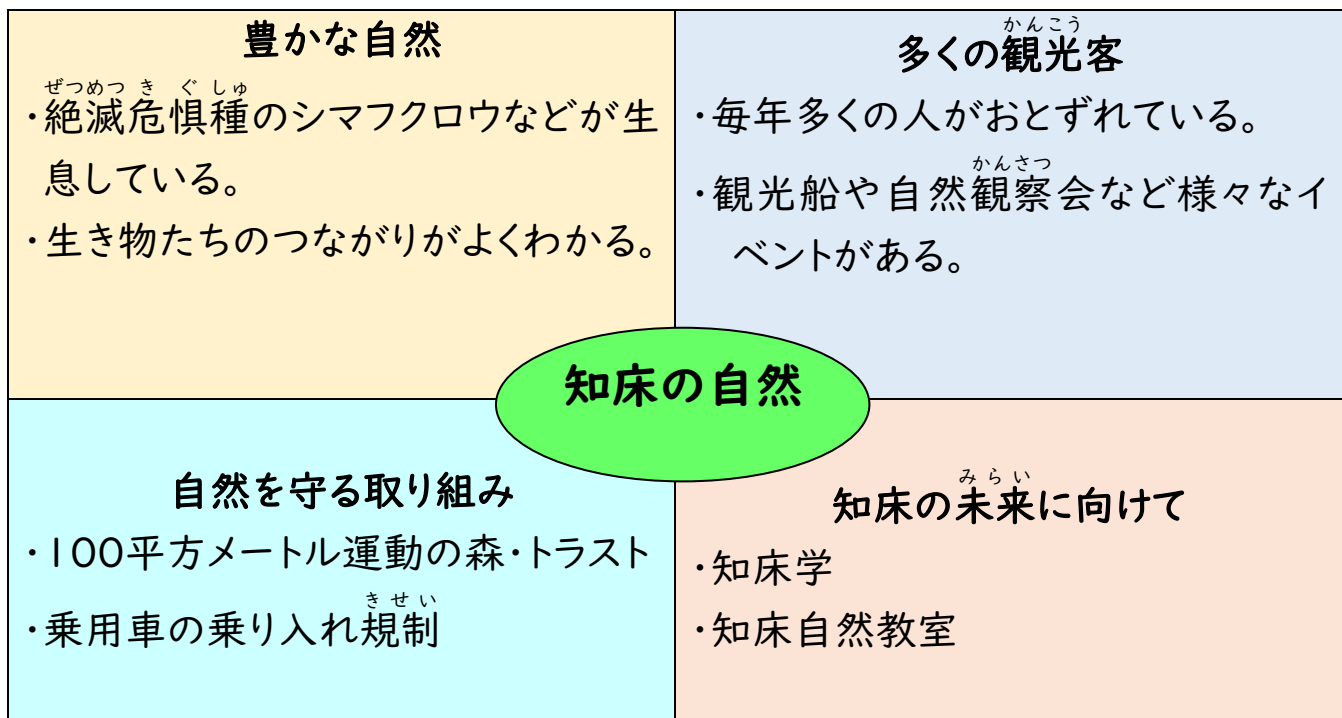


「たくさんの方がおとずれることで、
自然のバランスや、自然そのものが
こわされていくこともあるんだ
ね。」



「自然を守るとともに、自然を楽しむ
くふうもなされているよ。」

かずやさんたちは、みんなで話し合ったことを、いくつかのグル
ープに分けて、整理しました。



かずやさんたちは、人と自然がともに生きていく大^{たいへん}変さや、自然とふれあうことの楽しさを学びました。かずやさんは、学習をふり返って、知床に多くの人がおとずれるわけをノートにまとめました。



世界中から観光客がおとずれていることが分かる地図（知床自然センター）

かずやさんノート

知床に多くの人がおとずれるひみつは・・・。

○豊かで手つかずの自然がみりよく。

☆知床五湖 ☆フレペの滝 ☆カムイワッカ湯の滝
☆流氷 など

○観光客が楽しめるイベントや活動がある。

☆知床観光船 ☆知床五湖を歩く ☆シーカヤック
☆流氷ウォーク ☆自然^{かんさつ}観察会 など

○自然を守るさまざまな取り組みがある。

☆とれんべア ☆シャトルバス
☆いろいろな看板^{かんばん}や案内^{あんない} など

○自然を維持していくための努力^{どりよく}やくふうを
みんなでしている。

○自分たちの身近なところでも、自然を守ることができるはず。



ヒグマによる事故^{じふ}を防ぐための注意^{ちゅうい}看板

知床だけではなく、豊かな自然が多い北海道は、自然と上手につきあっていくことが大切なんだ。



わたしたちも、自然を活用しながら、守っていく努力^{どりよく}が必要^{ひつよう}なんだね。

まとめる 自然環境 世界遺産 人と自然 自然を守る
キーワードに注目して学習をふり返ろう。

①知床は、どのようにして世界遺産になったのでしょうか。
②知床の自然が豊かで、多くの人がおとずれるわけを説明^{せつめい}しましょう。



ア さっぽろ雪まつりの様子（大通公園）

3

国際交流の
さかんな
まちづくり

この時間の問い

外国の人々が、
多くおとずれる地域は
道内のどこだろう。

活動

外国の人は、どのような
目的で、札幌市を
おとずれているのかを
調べよう。

知りたいことを
話し合って学習問題をつくり、
学習計画を立てよう。

国際的なイベントが多く行われる札幌市

けいたさんたちが住んでいる北海道には、毎年
たくさん外国の人がおとずれています。

特に、札幌市や登別市、函館市、ニセコ町など
をおとずれる人が多いです。



「さっぽろ雪まつりには、たくさん
観光客がおとずれているね。外国から
来た人もいるみたい。」



「雪まつりの国際雪像コンクールも人気
があるよ。」



「雪まつりのほかにも、外国からたくさ
んの人が集まるもよおしは行われてい
るのかな。」

疑問について、市役所の人にたずねました。



㊦ 札幌コンベンションセンター 世界の国から人々が集まる国際会議や学会などが行われます。

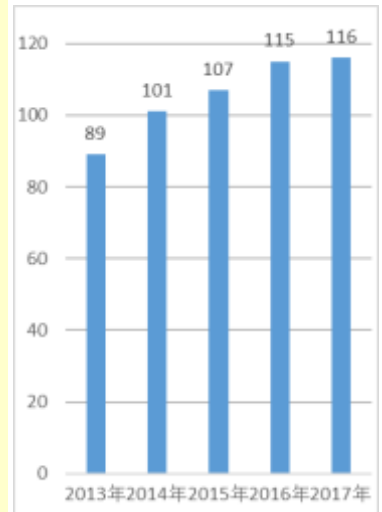


ほりかわ
札幌市役所の堀川さんの話

「さっぽろ雪まつり」は70年以上の歴史があり、外国からも観光や雪像づくりに来る人がたくさんいます。

札幌市では、雪まつりのほかにも、スポーツの国際大会や「世界冬の都市市長会議」などの国際会議が開かれたり、姉妹都市であるミュンヘン市の年中行事であるクリスマス市を行ったりしています。

札幌市には、大通公園をはじめ、たくさんの方が集まることができる公園やしせつが多くあります。いろいろなイベントで札幌市のみりょくを発信しており、札幌市をおとずれる外国の人は年々ふえています。



㊧ 札幌市の国際会議の数
札幌市経済観光局・2018年



「国際会議に参加する人々は、外国からどうやって札幌市に来ているのかな。」



「観光やスポーツ大会に参加するために来る人もいると思う。札幌市では、どんなことを楽しんでいるのかな。」



「札幌市の人々は、外国から来た人と、何か交流をしているのかな。」

話し合いをもとに、学習問題を考えました。そして、学習問題について予想し、学習計画を立てました。

みんなでつくった学習問題

札幌市では、どのような国際交流が行われているのだろう。

2013年	105万人
2014年	141万人
2015年	191万人
2016年	209万人
2017年	257万人

㊨ 札幌市の外国人宿泊者数
札幌市経済観光局・2018年

次につなげよう

外国の人は、
どうやって札幌市へ
来ているのかな。



✎ 新千歳空港

✎ JR札幌駅

この時間の問い

北海道のげんかん

北海道は、^{しんちとせ}新千歳空港を通して、どの国とつながっているのだろう。

けいたさんたちは、外国の人がどうやって^{さっぽろ}札幌市へ来るのか考えてみました。

活動

外国の人が札幌市に来る^{ほうほう}方法を考えよう。

新千歳空港を^{りよう}利用して外国から来る人の数を調べよう。

^{ひこうき}飛行機で結ばれる国や都市の^{いち}位置を地図で調べよう。



「新千歳空港に^{とうちやく}到着する飛行機に乗って、来ているのではないかな。」



「空港から札幌駅までは^{ジェイアール}JRや、^{こうそくどうろ}高速道路で^{いどう}移動できるよね。」

そこで、どの国から、どれくらいの人が新千歳空港を使って北海道に来るのか、調べました。

キーワード

^{こくさい}**国際空港**
国際線の^{こくうき}航空機が発着する空港



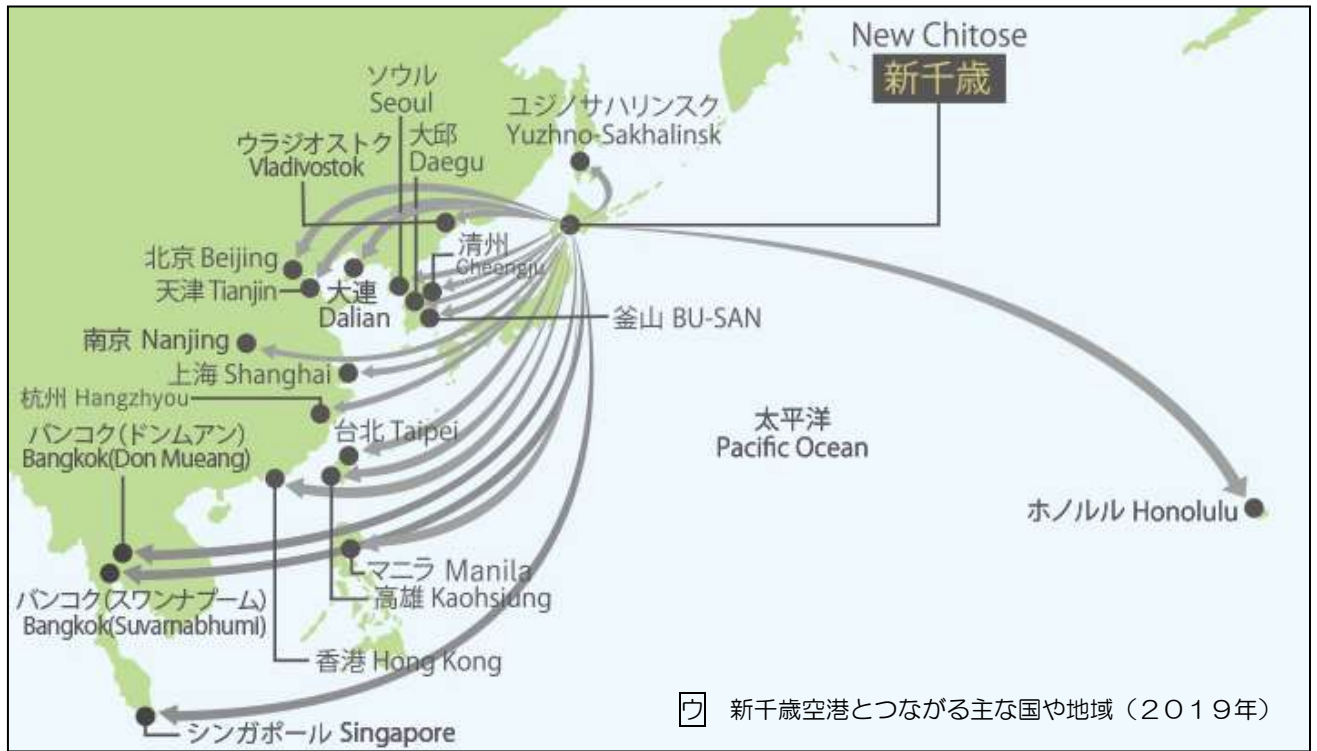
新千歳空港で^{はたら}働く人の話

新千歳空港は、東京、大阪、名古屋といった国内の空港と^{ろせん}30路線以上結ばれています。

また、国外の19都市の空港ともつながっている^{こくさい}国際空港です。

空港は、JRの駅ともつながっています。また、高速道路にも近いので、^{どうないかくち}道内各地へ向かう旅行者に利用されています。

新千歳空港から札幌までは、電車や車を利用すると、1時間くらいで着きます。



国籍・地域	入国者数(人)
韓国	549,060
台湾	352,822
中国	294,378
香港	152,535
タイ	139,605
マレーシア	64,565
アメリカ合衆国	24,382
オーストラリア	21,167
その他	96,076
計	1,694,590



新千歳空港から入国した外国人の数(法務省・2018年)

札幌駅にある外国人観光客向けの観光案内所



観光案内所で働く人の話

案内所では、外国の人向けに英語、中国語、韓国語、タイ語などの観光案内を用意しています。札幌駅の観光案内所では、外国のお金の両替もできます。



「韓国(大韓民国)、台湾、中国(中華人民共和国)から来ている人が多いよ。アジアの国は日本と近いから、行き来がしやすいんだね。」



「札幌市の人々は、外国の人とどのような交流をしているのかな。」

キーワード

アジア

東は日本、北はシベリア(ロシアの一部)、南はインドネシア、西はトルコにわたる地域をさして「アジア」とよぶことが多い。

次につなげよう

札幌市の人々は、外国の人々とどんな交流をしているのかな。



ア 外国の文化をしようかいするイベント（カルチャーナイト）の様子

? この時間の問い

札幌市は、外国の人やまちと、どのような交流をしているのだろう。

世界とつながる札幌市

けいたさんたちは、外国から来た人々と札幌市の人々が、ともに楽しくすごせる場所やくふうがあるのではないかと思います、調べてみました。



イ アメリカ領事による絵本の読み聞かせ

市役所の堀川さんの話



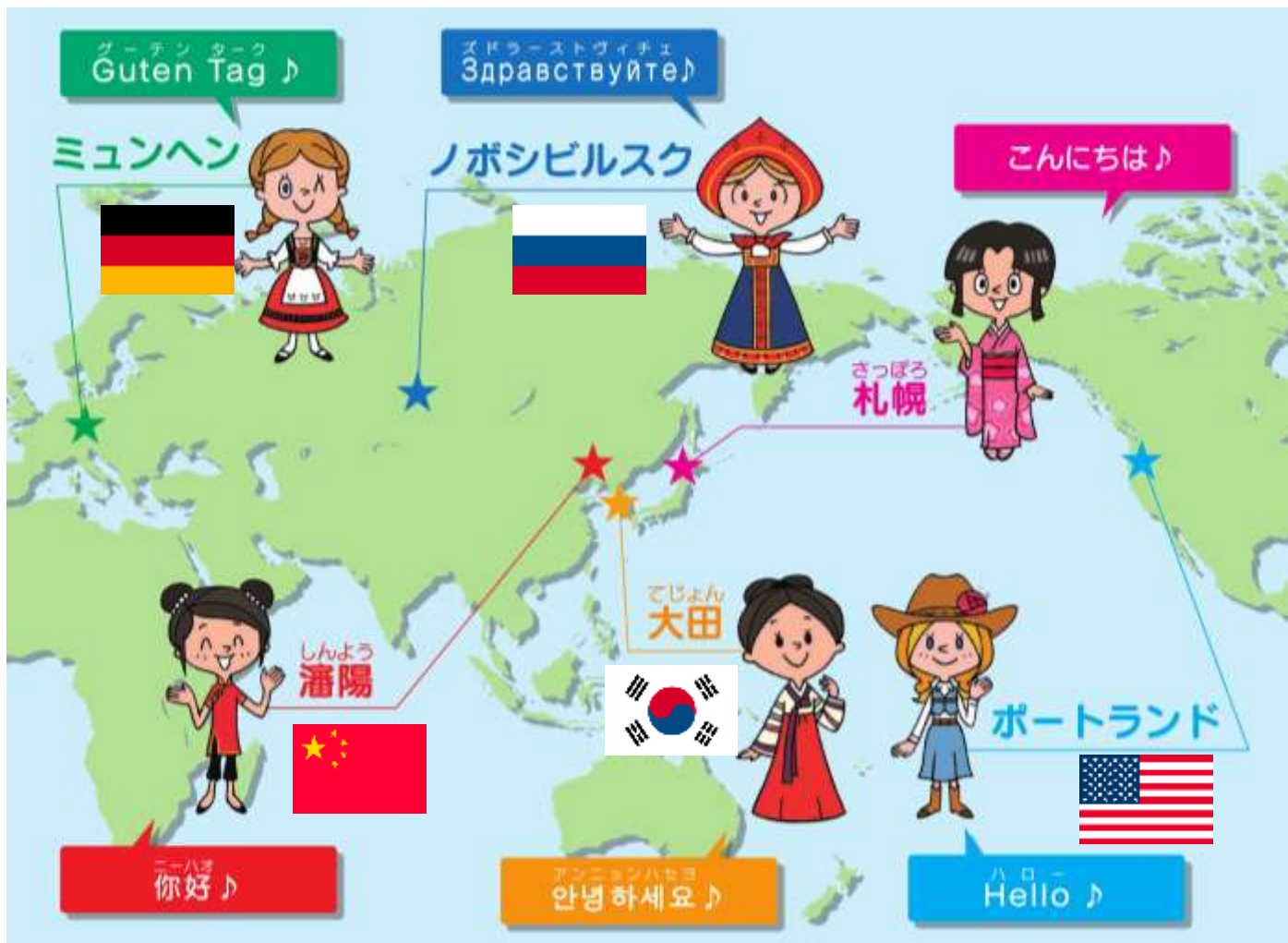
札幌市は、5つの外国のまちと姉妹・友好都市の関係をおすんでいます。姉妹都市のひとつ、アメリカのポートランドとの交流は、60年以上続いています。札幌国際プラザなどでは、外国の文化を身近に感じることができる「世界ふれあいひろば」などのイベントを行っています。また札幌には、雪まつり会場や札幌市時計台でのおもてなし活動をすすめてくれる外国語ボランティアや、外国の方のホームステイを受け入れてくれるホームステイボランティアなどに、たくさんの市民の方が協力してくれています。今後、ますます市民と外国の方との交流が深まるように取り組んでいきたいと思います。

活動

市が取り組む外国との交流について調べよう。

市が姉妹・友好都市の関係を結んでいる都市の位置を、地図でたしかめよう。

姉妹・友好都市との交流について、調べたことを発表しよう。



札幌市の姉妹都市・友好都市

市役所の方が教えてくれた，札幌市の姉妹・友好都市のある国と都市の位置を，地図で調べました。



「いろいろな国の都市と広く交流しているんだね。これらの都市とは，どんな交流をしているのか，調べよう。」

ぼくは，ポートランド市との交流を調べました。
 ポートランドは，札幌と気候がにているだけでなく，同じように開拓者によって開かれたまちです。それらが理由で，札幌市が最初に姉妹都市になったまちです。交流は60年以上続いています。市民どうしの交流もとても活発です。



キーワード

姉妹・友好都市
 文化交流や親善を目的とした地方どうしの関係のこと。
国旗
 国旗はその国を表す印として使われる旗のことです。その国を築いてきた人々の思いや誇りなどが込められています。どの国の国旗も，大切にあつかわなくてはなりません。

次につなげよう

外国の人とどんな交流が行われているのかもっと知りたいな。



ア 姉妹都市ポートランドの高校生と交流

イ いろいろな国を知るセミナー（ロシア料理を通しての交流）

交流を続けていくために

？この時間の問い

外国から来た人との
交流を続けていくには、
どのようなことが大切
なのだろう。

けいたさんたちは、外国から来た人々と
どのような交流が行われているか、さらに調べて
みました。

外国から来て

ホームステイをした人の話
ホームステイ先の家族
が札幌のいろいろな場所
に連れて行ってくれ、よい
思い出とよい経験ができ
ました。家族のメンバーと
して受け入れてくれたの
がうれしかったです。



「札幌市には、姉妹・友好都市や様々な
国からの訪問団や留学生などが来て、
ホームステイをしているんだって。」



「札幌市には、国際交流員という人がい
て、いろいろな国の文化を紹介してい
るそうよ。」



国際交流員のジョシュアさんの話

わたしたち国際交流員は、札幌市の国際交流にかかわる仕事を行って
います。札幌国際プラザなどで、異文化理解のための交流活動を定期的に
行ったり、市内の小学校に出向いて、それぞれの国の言葉や文化を知っ
てもらったりする取り組みも行っています。

自然が豊かでまちなみが美しく、親切な人が多い札幌をとっても気に入っています。

わたしは、これから札幌と世界を結ぶかけ橋になりたいと思っています。

活動



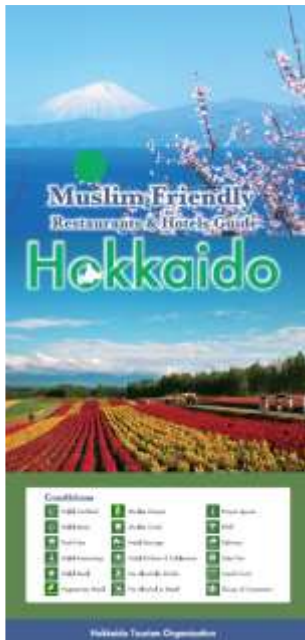
外国から来た人と、どのよう
な交流が行われているのか、
さらに調べよう。



外国から来た人との交流を、
これからも続けていくために
大切なことは何か話し合おう。



外国から来た人と、よりよい
交流をしていくための
取り組みについて調べよう。



☐ イスラム教の人のためのレストランなどのガイド イスラム教の人は宗教上の理由から食べ物にきまりがあるため、食事のできる店をしょうかいしている。

けいたさんたちは、より多くの外国の人と、さまざまな交流が行われていることを知りました。そして、外国から来た人とこれからも交流を続けていくために、どのようなことが大切なのかを考えてみました。

☐ 外国語でも書かれた道案内のあんないかんばん



☐ 外国語でも書かれた札幌市のつづくらしを説明するガイドブック




「外国から来た人の生活習慣について、わたしたちが知ることは大切だね。」



「外国の人の生活習慣の中には、自分たちとはちがうところがあることも知っておかないとね。」



☐ 災害時に日本語のできない外国の人がこまらなように作られたカード



札幌国際プラザの堺さかいさんの話

外国から来た人が病気や子育てなど、ふだんの生活でこまっていることがないか、相談にのる場をつくっていただきます。また、地震などの災害がない国や地域から来ている人もいますので、避難の仕方など、災害時の対応を伝えられるようにそなえています。

外国から来た人たちと地域の人々が、安心して気持ちよくすごせるようにこれからも活動していきます。

次につなげよう

わたしたちと外国の人がおたがいをわかり合いながら、交流していくことが大切だね。

世界との交流の輪が広がることを願って

?この時間の問い

けいたさんたちは、学習問題をふり返り、札幌市で外国の人との交流がさかんなわけを考えました。

札幌市では、どのような国際交流が行われているのだろう。

スポーツの国際大会や国際会議が行われているのは…だからじゃないかな。

札幌市に住んでいる人たちは、外国から来た人との関係を築くために…。

新千歳空港と…の国々が飛行機で結ばれているからだよ。



札幌市は、5つの都市と姉妹・友好都市の関係をつなぐことで…といった交流をしている。

外国から来た人が札幌市でくらしやすいように、例えば…。



みんなが話し合ったことを、いくつかのグループに分けて、整理しました。



「外国の人も参加するイベントや、多くの人を受け入れる大型の施設があるからだ。」

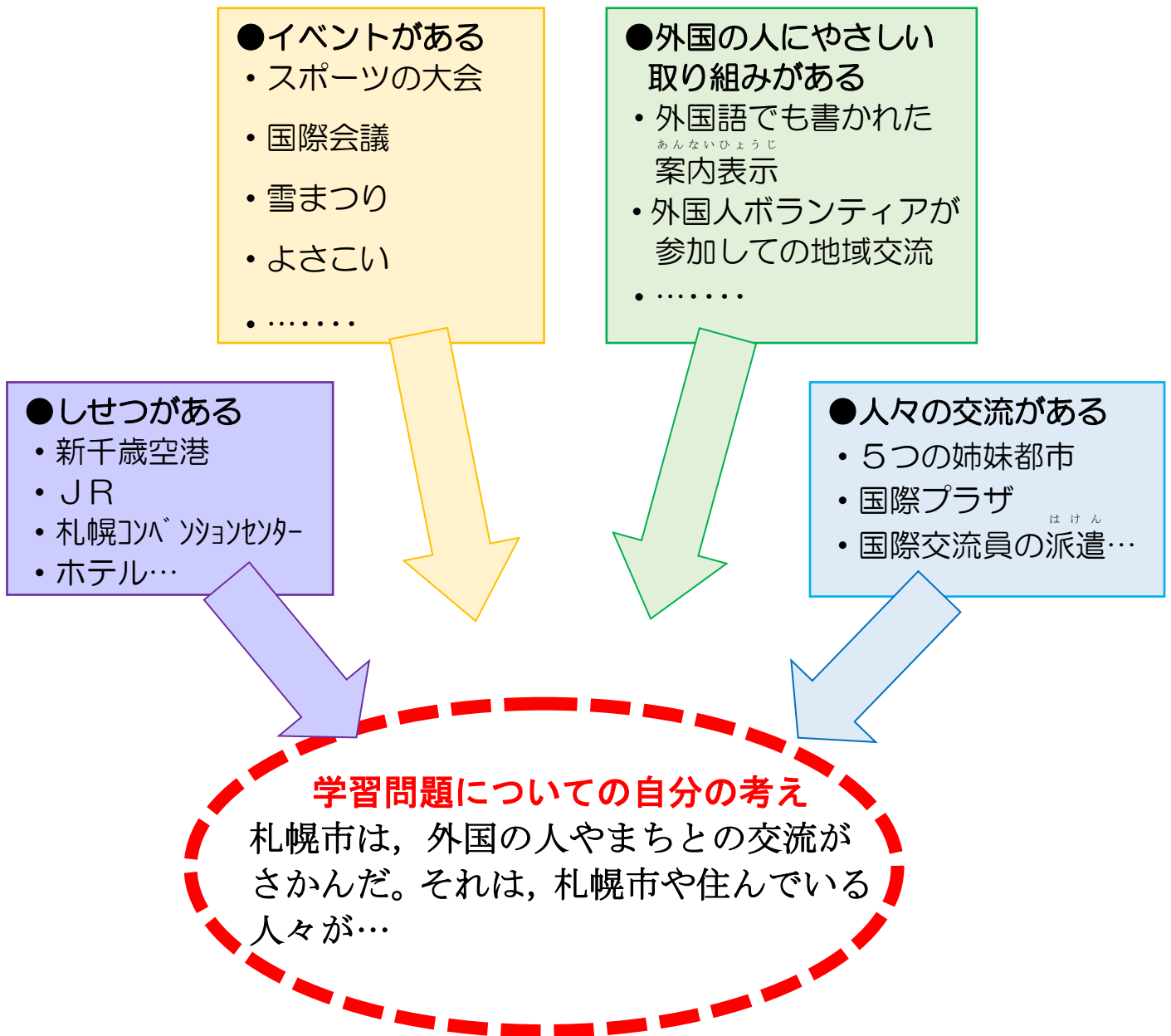


「外国から来た人も、気持ちよくすごせるようなまちづくりをしているからだよ。」



キーワードに注目して学習をふり返ろう。
国際交流 姉妹・友好都市 国旗

分けたグループごとに、調べたことごとを書き入れていきました。
書き入れたものを見て、学習問題について考えたことをノートに
書きました。



外国の人との交流を、さらにさかんにしていくには...

けいたさんたちは、外国の人との交流を、さらにさかんにしていくには、どうしたらよいかを考えていくことにしました。考える手がかりにするために、えにわ恵庭市や北海道の他の地域ちいきの国際交流についても、調べてみたいと思いました。

次につなげよう

恵庭市や他の地域では
どのような交流をしている
のだろう。



㊦ ニュージーランド・ティマル市との姉妹都市 10 周年記念式典（2018 年）

㊧ 恵庭市の姉妹都市であるニュージーランドのティマル市からもらった絵本の原画



えにわ こくさい 恵庭市の国際交流

? この時間の問い

恵庭市や他の地域では、どのような国際交流が行われているのだろう。

けいたさんたちは、恵庭市や他の地域では、どのような国際交流が行われているか調べてみることにしました。

かいせつ

こくせき 国籍

その国の国民であるという身分・資格



「恵庭市立図書館に、ニュージーランドから送られてきた絵が展示されていたよ。」

「毎年冬に、恵庭市民会館で行われるスウェーデンのお祭りに行っているよ。」

「ニセコに住む外国の人がふえているって、この間テレビでしようかいされていたよ。地元の人と交流しているのかな。」

そこで、恵庭市や他の地域では、どのような国際交流が行われているか調べることにしました。まず、恵庭市役所の方に聞いてみました。

市役所の大林さんの話



恵庭市の国際交流は、恵庭国際交流プラザ、恵庭ニュージーランド協会、恵庭日中友好協会などの市民団体を中心に活発に行われています。また、市内の大学などへの留学生や工場や農家に来る技能実習生など恵庭に住む外国の人もふえてきています。今後もふえていく傾向にあり、国籍も、東南アジアの国を中心に多国籍化しています。

国際交流などのイベントを通して、国際理解が進み、外国の人にも住みやすいまちになることを願っています。



㊦ 恵庭国際交流プラザ「ニュー・イヤーズ・パーティー」

㊧ 恵庭国際交流プラザ「外国語であそぼう」



「恵庭市に住む外国の人がふえているんだね。市民の人とどんな交流をしているんだろう。」

けいたさんたちは、恵庭国際交流プラザの方に聞いてみました。



恵庭国際交流プラザの北田さんの話

恵庭国際交流プラザでは、市民のみなさんが気軽に外国の文化にふれたり、地域の外国の人と交流が持てたりする機会がふえるように、さまざまなイベントを企画しています。例えば、「ハロウィーンを楽しむ会」は、ニュージーランド出身の方にハロウィーンのランタン作りを教えてもらうイベントです。また、外国の出身者による「世界の料理教室」なども行っています。今後さらに異文化に親しみながら、外国の人たちとの交流が深まっていくとよいと思います。

けいたさんたちは、北海道の他の地域についても調べてみました。



「ニセコは外国人観光客や外国人住民が多いんだって。ニセコ町役場にも、札幌市のように国際交流員が4人いるそうだよ。」



「登別市の友好都市はデンマークのファボー・ミッドフュン市なんだって。毎年、中学生がデンマークをおとずれて、現地の中学生や地元の方々と交流し、貴重な体験をしているそうよ。」



「一人一人が交流を深めながら、おたがいにわかり合っていくことが、大切なんだね。」



㊨ ニセコ町役場の国際交流員による学校訪問



㊩ 登別市の取り組み



学びのてびき

ガイドマップを作っ
て、北海道をしょうか
いする

- ①班に分かれ、ガイドマ
ップに書くことを決め
る。
- ②ガイドマップを作る。
できたマップを班の中
で見て、北海道のよさを
表すキャッチコピーを
それぞれ考える。
- ③ガイドマップを発表し
ながら、しょうかいした
い北海道のよさや、マッ
プ作りでくふうしたこ
とを伝える。最後にそれ
ぞれが考えたキャッチ
コピーを発表する。

けいたさんたちの学校に、外国の小学生がや
って来ることになりました。



「外国から来る小学生に、自分たちの
住んでいる北海道のよさをしょうか
いしたいな。」



「北海道の地図や写真、イラストなど
を見せながら、わかりやすくしょう
かいしようよ。」

外国から来る小学生に自分たちの住んでいる
北海道のよさをしょうかいするために、北海道
の白地図を使ってガイドマップを作ることにし
ました。



「北海道について調べたことをふり
返って、ガイドマップに書くことを
話し合おうよ。」

ぼくは、しょうかいし
たい工芸品こうげいひんがいくつ
かあるんだ。



わたしたちの北海道は、
ゆたかな自然しぜんがたくさん
残のこっているよ。しょうかいし
たいことがたくさんあるね。



できるだけ北海道全体を、
しょうかいしたいね。



できたガイドマップを使って、まず、クラスの中で発表することに
しました。班ごとの発表を聞き、意見や感想をのべて交流しました。



わたしたちの北海道には、さまざまな地域があり、人々は地域の発展を願って、協力し合っています。このような協力があることも、北海道のよさだと思います。



マップ作りでくふうしたのは、北海道全体をしょうかいすることです。そのために、北海道のガイドブックやパンフレットを使って・・・。



ぼくが考えたキャッチコピーは、「自然いっぱい心あたたか北海道」です。このように考えたわけは、北海道は自然が豊かで、人々は・・・。

